

千客万来 (第27号)

1 ご挨拶

超不況とその連鎖の恐怖を実感させられる年明けでしたが、皆様方にはお元気でご送日の事と存じ上げます。

昨年も当所謹製のぶどうや苗木などお買い上げ頂き、その上温かいお励ましやお力添えを賜りまして、誠に有り難うございました。



今省みて思う人生は、幼小期から「正直・勤勉・質実剛健・親孝行・・・」等を美德とし、戦後は文字通り粉骨砕身の努力で、廃虚の中から裸一貫で立ち上がり、GNP世界第一位、神武以来の好況、消費者は神様と有頂天。まさにうたかたの夢を見ていたのでしょうか？これからどう立ち向かえば良いのか、老後の夢はバブルと消えて、再び日夜勤勉と我慢の生活へと逆戻りです。

とはいえ、日本農業の一翼を担う一人として思うことは、食料自給率50%を目指す農政には大賛成ですが、日本の農業の中心は稲作で、優れた土地を利用していると言う事です。

その40%の土地は、減反政策で稲作が禁止されているのが現状です。

50%に自給率をアップする鍵は、専業農家の生活が立ち行き、かつ若者が生涯の職業として選択可能な、魅力ある農業

の実現がなくては不可能です。

私はこれまで、その転作田の活用で魅力ある農業の確立に・・・と挑戦して20年になります。

幸いにも、私の育成したぶどう新品種は『瀬戸ジャイアンツ』・『ハイベリー』・『マスカットデュークアモーレ』など、全国各地のぶどう農家を支えて来たようです。

ぶどうは商品であり、消費者の皆様のサイフに委ねられている事を銘記して、本年も皆様に期待されるぶどう作りに、ベストを尽くしたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

2 去年のぶどうを省みて

(1) 出来具合 (作柄)

スタッフ一同の技術のレベル向上努力と、生育期に比較的好天が多く、高温が続いたとはいえ台風禍もなく、ぶどうには大変良い年で、美味なぶどうになり大好評を頂きました。

ただ、一部減農薬のための害虫被害で、外観を損なう果実も出て残念に思いました。

(2) 減農薬栽培

有機無農薬栽培の認承をめざして努力していますが、残念ながらタネナシにするために使用する「ジベレリン」という植物ホルモン剤が化学物質のため、認定はされません。

唯一、種アリの「花澤ローザ」や「赤嶺」は可能です。しかし、害虫問題が未解決のため取得が延びています。

○ 農薬使用記録 (JA標準の75%減)

- | | | |
|-------------|--------------|------|
| 1回目 3/25~27 | 石灰硫黄合剤：病気：全体 | |
| 4/26 | アプロード：害虫：全体 | |
| 2回目 6/2~5 | トリフミン：病気 | } 混合 |
| | アドマイヤー：害虫 | |
| 3回目 6/23 | スタークル：害虫 | } 混合 |
| | ベンゼコブ：病気 | |

4回目 7/24 コテツ+モスピラン一部分：害虫
5回目 9/19～24 アディオオン+マイトコーネ
一部分：害虫

★ 10/29 エスレル(落葉促進)ハウスのみ
★ CFW3/15・3/31・4/18・5/17・6/1・6/29
7/19・7/29～30・8/14・10/20

病気は、辺見電機エンジニアリング開発
のCFW(安定化次亜塩素酸水)の利用と好天
に助けられ、発芽前1回と開花後の2回使用。

害虫は、発芽前の越冬蛹の捕獲に努め、
発芽後の殺虫剤は上記のとおりです。

(3) タネナシ化対策

種ナシぶどうのニーズの高まりに即応した
いのがやまやまですが、今までの技術だけでは
難しく品種によってその難易差があり、研究を
続けています。そのうち、全品種のタネ
ナシ化は可能になると思います。もうしば
らくお待ち下さい。

ただし、種ありの方が自然の摂理に叶い
美味・栄養豊富である事も知っておいて
いただきたいと思います。

3 収穫後～春を迎える迄の 主な管理状況

① 礼肥

大部分の収穫を終えた10月上旬、次年
の生長を支える貯蔵養分をたくさん蓄える
ため、畜産農家の堆肥を1株当たり約10
0kg与えました。

② 元肥

2月中旬有用微生物で、発酵させた特
製堆肥と炭を1株約30kgを施しました。

③ 落葉処理

晩秋自然の野山では紅葉落葉します。
ぶどうも落葉樹です。光合成能力のない葉
は早く落葉させる必要から休眠促進剤
「エスレル」を散布しました。
しかし、12月上旬の大寒波で完全に

葉が枯れました。そのため効果が確認でき
ず、落とすのに一手間かかりました。

④ 枝の剪定

今年の仕事始めとして、1月4日より剪
定を始め、1月23日に終了しました。異例
のスピードです。スタッフの皆さんが、し
っかり学習しながら作業をしました。

切り落とした枝の破碎と堆肥化も、要領
よく進められ、若いスタッフの方達のアイ
ディアと行動力に感謝です!



⑤ 温度管理

目下は冬の休眠期です。ぶどうの木
も十分休ませるため、1・2月はハウスを
全面開放していました。

1月末より2・3号ハウスの夜間の保
温を考えて、二重被覆(内張り)を始め、
完成間近です。今週から保温を開始してい
ます。これで少し発芽が早まり、3月中～
下旬頃には可愛らしい芽が見られる予定で
す。他のハウスは、3月より全部の窓を閉
めて保温を始める予定です。

⑤ 灌水

ハウス栽培のため、冬季は地表面から逃
げる水で土中が乾燥し根が弱るため、7～10
日に一回充分灌水します。

3月には回数を増やして、
発芽を促します。

4 トピックス

① CATV (Oni ビジョン)

1月から地元 Oni ビジョンが、『もっと農業生活—ぶどう博士の挑戦—』と題して、新品種育成の課程を密着取材。毎月更新され NO.7 まで放映され HP で見られます。

(<http://www.setogiants.com>)

下の写真は『瀬戸ジャイアンツ』を親にした子供のぶどう達です！親を超える子が育つよう祈りながら、発芽から落葉まで数回にわたり樹の性質・果実の特徴など、11項目以上のチェックが続きました。



12月には選抜検討会も開き6個体が一次調査をクリアし、他は伐採されました。

助手の Oni ビジョン福島さん(ディレクター) 清水さん(カメラマン)のご協力に感謝です。

② 江西幼稚園児見学に

始業式前の時間を利用して、先生と園児のみなさんが見学に！

お行儀よく説明を聴き、お待ちかねぶどうの試食です！

- * 『瀬戸ジャイアンツ』
- * 『マスカットデュークアモーレ』
- * 『ハイベリー』の3品種を試食。

『美味しい！美味しい！』とあちこちから声が上がり、その笑顔の可愛らしいこと！

「来年は、園児を送って来られた保護者の皆さんも時間が許せば、実際に育てているブドウを見ていただくといいね!」と話しました。



③ 瀬戸南高校生来園

園芸科果樹コース教師4名と生徒28名に「交配」の技術指導をしました。

農業クラブ活動の一環として

『守れ「瀬戸ジャイアンツの里」第3の岡山オンリー1のぶどうを目指して』挑戦されています。

学校の HP に掲載されています。主人の出身校・勤務校でもあるので、期待は大きいものがあります。

④ 研究所設立20周年

所長は『喜寿』を迎えましたが、ますます夢を膨らませて元気一杯です！

『頑固親父のぶどうを世界へ!』というタイトルで本でも書いたら・・・と、周囲の方々から奨められています！

長年ぶどう栽培を支えてくださったスタッフの方々が高齢化！若い方々が一応見習い期間を終了！

**20周年を区切りに
世代交代を！**

(一番退職したいのは、家内かも知れませんが・・・)

(5) 江尻ハウスでも 発送を始めました!

第2農場の成園化に伴い、出荷体制を整えました。

出荷資材や用具一式を調達し出荷のスピードアップです。

- ① 出荷容器の組み立て・緩衝敷入れ
- ② 熟度調査・収穫・撰果調整・房の包装
- ③ 箱詰め計量・箱の包装・荷造り・送り状確認・添付・記録

作業の流れが定着して、仕事が楽しかったとのスタッフの声は、大変嬉しいものがありました。

5 今年の課題

(1) 商品性向上対策

- * 今日までに培ってきた準有機減農薬栽培を更に確かなものにする。
- * 果実の外観の美化に一層努力する。
- * 土作りと有機質肥料の施用法の研究。
- * 害虫防除の研究

(2) 農薬使用について

今のままでよいか・・・外観・価格向上のためなら、使用回数を増やすのも止むを得ないのか?

(3) 価格について

可能な限り、皆様のご負担を軽くし、長くご支援いただけるように配慮しています。特に、安全・安心のため農薬を控え、できるだけ人力で作るようにするので、コストは少し高くなっています。

(4) 到着ぶどうの傷みについて

残念ながら毎年2・3件は

- * 潰れていた!
- * 傷んでいた!
- * 脱粒していた!

と言う苦情が寄せられています。1箱内

で潰れた粒が3粒以上もあるとか、脱粒が5~6粒以上もまとまった状態とか、それらの事が複合して発生している場合は、運送上の事故の疑いもあります。私共も気を付ける様に致しますが、その場合はぜひ届けてくれたクロネコヤマトの取扱店へもご連絡ご相談をお願い致します。

(5) 新商品の検討中

★純マスカット100%ぶどうジュース★

内容 『マスカットぶどうジュース』

原料 研究所生産のマスカット系ぶどうと、選抜中品種約30品種を、有機減農薬栽培したもの

製法 岡山県農業技術研究所で搾汁

「さくら酢本舗」瀬戸町笹埜酢醸造所にて瓶詰いたしました。

販売方法を模索しています。

6 終わりに

2月14~15日、夏日に迫る高温、17~18以降、一転して強い寒波です。

自然界の異常が、食糧戦争に拍車をかけています。エコ農業、エコ生活に努めつつ、今年もよりよいブドウをお届けできますように頑張ります。

末筆ながら皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げて終わりといたします。

花澤 茂

★編集後記★

インフルエンザの流行・ご両親の入退院院・お子様の受験など重なり、スタッフの欠勤が・・・今年も全員集合がなかなかです。ただ我が家では、何年ぶりかで一日全員集合出来て、嬉しい時間がもてました。三寒四温!皆様のご自愛を心よりお祈り申し上げます。 花澤 睦子